# 縹十五句

## 松岡隆子選

軽鴨の子のひとかたまりに波を越す　平沢千恵子

久々に降れば土砂降りかたつむり　渡辺あつ子

ぼんやりとしてゐると虹立ちにけり　川上昌子

風鈴に雨の近づく匂ひかな　佐藤郭子

ふくいくと泰山木の花錆びて　鈴木綾

揺れやすき色より揺るる花菖蒲　唐木和世

青あらし十七歳の眉太く　広渡詩乃

朝焼けや癒えしといふも頼りなき　室井千鶴子

亡き夫の部屋の風鈴ふと鳴りぬ　石崎章子

ふるさとは水の匂ひの早苗月　植草京子

待つといふ刻の閑けさ沙羅の花　小村絹代

行き行きて夏野の果てに人の家　刈屋ひで子

淡海を包み込んだる梅雨夕焼　椎名佐和子

咲き出してけふどつと咲く凌霄花　宮崎美智子

雫して雨に青ずむ山法師　町田洋子